

# オンライン空間の活用で対話を促進

## ひらかた万博共創プラットフォームに TailorWorks を実証導入

市は、ひらかた万博の取り組みの一つである「ひらかた万博共創プラットフォーム」において、オンラインコミュニティアプリ「TailorWorks」を令和4年12月1日から令和5年3月31日まで実証導入する。現在、同プラットフォームでは市及び市民団体・民間事業者・大学（以下、「事業者」）など、市内外の約30事業者が参加し、公・民、民・民連携での共創による地域経済の活性化に向けた対話を進めており、同アプリの導入により参加事業者間の更なる対話の促進を図る。国、自治体や民間企業で導入実績のある TailorWorks のオンラインコミュニティ内で、2025年大阪・関西万博を契機とする公民共創機運の高まりを地域経済の活性化に繋ぐというテーマ設定は初の試み。市は今後、事業者が一同に集まるプラットフォーム会議（リアル）と TailorWorks 上の時間や場所に捉われないオンライン空間を併用した対話・共創を推進していく。

★ひらかた万博共創プラットフォーム（令和4年9月創設）は、市が事務局となり以下の主な機能、役割を果たしている。

(1) 情報共有・対話の場

大阪・関西万博、ひらかた万博それぞれに対する情報交換、対話の場。

(2) オープンイノベーション

事業者のアイデア、技術、サービスを活用した公民・民民連携の機会を提供。市内の様々な地域資源等を活用した実証実験等を通じ、地域の課題解決、地域経済活性化に向けた取り組みを創出。

(3) ひらかた万博ブランドの創出

地域に経済効果を生む、新たなブランドの創出を検討、支援。

(例) 市の特産品や市内企業の技術等を活用した商品やサービス

★コミュニティアプリ (TailorWorks) は、株式会社テイラーワークス（東京都渋谷区、<https://tailorworks.com>) が提供する、あらゆる人や地域、企業間の対話を通じて多様な共創を実現するオンラインコミュニティアプリ。コミュニティ内に、ユーザーが抱える課題や相談を掲示し、課題解決や共創に向けたアイデア、意見等のコミュニケーションを促す機能が備わっている。地域経済の活性化、産業振興等をテーマに、経済産業省や東京都、静岡銀行、北海道電力株式会社など、国や自治体、金融機関等での導入実績がある。

★今回の実証導入は、大阪府と市町村の地域・社会課題の解決に資する事業の支援を目的とした、令和4年度「大阪スマートシティパートナーズフォーラム プロジェクト 推進補助金」の採択事業として行う。大阪スマートシティパートナーズフォーラムは、大阪府、府内43市町村、企業、大学、シビックテック等の多様な主体が連携し、ICTを活用したサービスの実証・実装を進め、地域課題の解決につながる取組みを推進することを目的に令和2年8月に設立した組織。

<お問い合わせ>

総合政策部 企画政策室 政策推進課

☎ 072-841-1149 FAX 072-841-3039